

校区福祉委員会とは

～地域と市民をつなげる架け橋に～

地域住民で組織された団体が、地域のつながりを作っています



目的は？

同じ地域に住む住民が抱える課題を共通の問題として理解し、住民のみなさんの参加や協力を得ながら「たすけあいの輪」を広げています。

悩み・困りごとを持つ地域の方が孤立することのない、「誰もが安心して暮らせる地域づくり」を推進しています。

羽曳野市でいくつあるの？

小学校区エリアを単位とし、14校区にあります。

誰が福祉委員なの？

自治会（町会）・民生委員児童委員協議会・老人クラブ・更生保護女性会・婦人会等の各種地域団体を中心とした地域住民のみなさんです。

※各種団体・グループを中心としている理由

- ・さまざまな角度から住民の声が反映できるため
- ・住民の課題を地域の課題として考えるため
- ・各団体との連携や協力体制を作ることで、より効果的に問題解決を図ることができるため

♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
誰が対象なの？
♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

ひとり暮らしの高齢者、障害のある人、子育て中の親御さんなど、支援を必要とする地域に暮らす人を主な対象としています。

♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
何をするの？
♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

住民主体の個別支援活動や、グループ援助活動をおこなっています。

※個別支援活動とは

在宅で生活している人や外出が困難な方など、支援を必要とする人たちへのさまざまな援助活動を行います

見守り・声掛け訪問



ひとり暮らしの高齢者などに
見守り、安否確認、声掛け訪問を
おこなっています

※グループ援助活動とは

地域会館や学校等の地域拠点に集まり、ふれあい交流を図る活動です

子育て中の
親御さんたちが
ホッとできる場を
提供しています

子育てサロン



世代間交流



子どもから高齢者まで世代を超えた
みなさんが交流する場で
「ふれあいまつり」などを
校区ごとで開催しています

公民館などで
おしゃべりや
仲間づくりの場を
提供しています

喫茶サロン



講座・研修会



住民向けの「健康講座」や
役員の資質向上のための
研修会を開催しています

羽曳野市社会福祉協議会では、校区福祉委員会の活動を後方支援しており、地域がより良くなるための活動を一緒に考え、地域で起こっている課題を共有する場を設けています。